

福祉教育
常任委員会

閉会中の調査

で子育てを支援できるような仕組み作りに取り組み。

具体的な施策

相談窓口、情報伝達の方法として、中学校区ごとに1か所、公立のこども園、保育園の中に子ども家庭総合センターを設置する。

〈第2期子ども・子育て支援事業計画(案)について〉

経済的な負担の軽減で、養育費の保証促進補助金制度創設、乳幼児の医療費の助成の拡大、幼児教育保育の無償化の制度を掲載するという概要説明がありました。

一次計画からの変更
これまで、妊娠出産育児期に力を入れており、今後、更に妊娠前から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を進める。全国に先駆けて、発達支援システムを構築し、支援の必要な子どもに対し、乳幼児期から就労期までのライフステージに応じて、教育・福祉・保健・医療・就労に及ぶ関係機関の連携による支援を提供することを強調している。

身近な地域で子どもや子育てを見守り、行政だけでなく地域全体

足りず空き室が出るのでは。

現在も保育士が足りず、下田こども園は0歳児の預かりができないので、水戸保育園と一緒に預かっている状況です。3歳以上の幼児・保育の無償化が始まり、2人目の未満児の応募が増え、ますます保育士確保が厳しい状況です。

現在の待機児童は。

平成31年4月は44人でした。未満児の待機が多い。今まで幼稚園で3歳以上の所が、こども園になり、未満児の枠が増えます。

〈第2期湖南市教育振興基本計画(案)について〉

キャリア教育の推進の所で、数値目標を中学生の職場体験事業者、事業所数としていますが、キャリア教育の視点から、年間計画の策定で、令和6年度に向けて、全校が計画を

立てていくという形に変更しました。

市立図書館の児童図書12才以下の子ども一人当たりの年間貸出冊数は再度精査をし、数値目標の実績値、目標値を変更したと説明がありました。

主な質疑・答弁

消防署と学校防災教育コーディネーターが連携して行う避難訓練の内容は。

事前に、消防職員からいただいたアドバイスを見直し、連携をして避難訓練を行う。令和2年度からモデル校を決めて取り組みを進め、令和6年度には、全ての小中学校で行う。

通学路の危険個所の合同点検の目標値が実績値の3倍だが、予算も見込んだ計画か。

大津市の事故以降、保育園、幼稚園の子どもたちの散歩として使う道も安全点検を行うので、数値が増えた。

改良して欲しい所を要望し、各関係組織などと連携し、子どもたちが安全に通学できるように配慮していきます。

主な意見

遠距離通学に国も一定の財政的支援をしています。将来、安全な通学手段としてスクールバス、コミュニティバスを活用した対策を考えていただきたい。

パブリックコメントの貴重な意見は、今後、参考にするという限りは、事業で生かしていくよう内部で調整していただきたい。

〈岩根診療所の診療体制について〉

報告事項
湖南市国民健康保険岩根診療所院長の杉山俊明医師より、令和2年3月31日をもって満了となる診療業務委託契約を更新しない旨の申し出を令和2年3月

12日付で受理しました。平成29年頃から受診患者、診療収入額が著しく低下し、医師の体面にも不安な様子が見受けられ、診療継続の協議を重ねていきましたが、杉山医師の申し出を受け、令和2年度から、まだ調整中ですが、新体制で診療所の運営を行うと報告がありました。

令和2年度 診療体制(案)
院長 茂森昌人(現湖南市立石部診療所副院長)

診療科/受付時間	月	火	水	木	金
午前診 8:30～11:30	茂森(内科)	廣田(小児科)	茂森(内科)	藤井(内科)	
午後診 13:30～16:00		廣田(定期接種)			弓削MC(総合)
夜診 16:30～19:00		廣田(小児科)			